

お寺の子ども会 西教寺進徳 日曜学校 だより

西教寺蔵本通支坊 2018.6.10 呉市中央 7-7-13 Tel 21-2798 E-mail:nikkou@saikyoji.net

5月は降誕会奉賛ビンゴゲーム大会でした。



五月のお寺の子ども会は、降誕会（うたんえー親鸞さまのご誕生日）奉賛ビンゴゲーム大会でした。過去最高の子ども五十三名、大人を合わせると百三十五名の皆さんが手を合わせてくださいました。参加無料で、お参りしてくださるだけで嬉しいのですが、ご法礼をご進納くださる保護者もいらっしやっつて、お気遣いに恐縮深謝しております。

話変わって、先日『おこだでませんように』という絵本を読みました。まずタイトルルの意味が分かりませんでした。「おこだ」は、炬燵（こたつ）のことを「おこだ」というので東北の方の訛（なまり）で「おこだ」かなあ、「でませんように」は「出ませんように」かなあ、とか思いながら読みました。全部は紹介できないので帯の言葉だけ紹介します。

ぼくはいつもおこられる。いえでもがっこうでも…。きのうもおこられたし、きょうもおこられている。きつとあしたもおこられるやろ…。ぼくはどないしたらおこられへんのやろ。ぼくはどないしたらほめてもらえるのやろ。ぼくは…「わるいこ」なんやろか…。ぼくは、しようがっこうにゆうがくしてからおしえてもらったひらがなで、たなばたさまにおねがいをかいた。ひらがなひと



つずつ、こころをこめて…。

ああ、「怒られませんか」に「だ。同時私の心に衝撃が走りました。その子の心の底の、いのちの叫びに出遇った気がしました。友だちとはケンカばかり、親や先生には怒られてばかりだけど、本当は怒られずに誉（ほめ）られたい、叩（たた）かずに抱きしめてもらいたかったんだ。子どもは本当は親の笑顔が見たいだけなのです。最近起こった悲痛な事件でも、子どもの日記にその思いがこぼれ出ていて胸がしめつけられる思いがします。

私をお導き下さった先生に、以前教えていただいた、「人にはだれでも、多かれ少なかれ、他人の想像を超える心身の苦痛や心の葛藤がある（『自殺防止のための手引き書』）」という言葉がよみがえって来ました。私たちは、分かっているつもりで表面的にしか人を見ていないのかもしれない。大切な人の「いのちの声」を聞く耳、聞くことのできる心を持ちたいと思います。



西教寺賞のふとんクリーナーをゲットした前野錦江さん。



次回お寺の子ども会は7月15日（日）14時～16時です。